

職員並び共同組織のみなさんへ

今度こそ政治をかえよう! わたしたちの一票で、いのち・くらしを守ろう。

軍事優先ではなく、わたしたちケア労働者が大切にされ、医療・介護、社会保障最優先の政治を実現しましょう。

2024年10月15日

信和会常務理事会

石破茂首相が衆議院を10月9日に解散し、総選挙を27日投開票で実施すると表明しました。これまでの総裁選で「国会の論戦を経たうえで国民に信を問う」との発言を翻し、野党から「言行不一致」「論戦からの逃げだ」との批判が相次ぎ、自民党内からも「強引すぎる」との苦言が上がるのも当然です。

私たちは、軍事費拡大ではなく医療・介護、社会保障最優先の政治を実現したいと思っています。そのチャンスが今回の解散総選挙です。

全国の医療機関・介護施設の経営危機と政府が推し進める社会保障解体の政策の矛盾がこれ程までに鮮明になっているときはありません。今こそ診療報酬改定・介護報酬を再改定させ、私たちの事業所を守り抜くことが必要です。

石破首相は軍事力の強化と改憲議論を加速させる非常に危険な動きを強め、緊急事態条項とあわせて自衛隊を明記する憲法9条改憲議論を加速させてようとしています。9条の大切さを学び平和と人権を守る闘いを推し進めましょう。

今能登復興支援に取り組む国の責任をあいまいにすることは許されません。民医連からも多くの仲間被災地支援にかけつけています。そんな中、総選挙前には「裏金問題に厳しく望む」と訴えていた石破首相自身の自民党派閥、政治資金収支報告書に不記載の疑いが報じられています。早期解散はこれらの問題にフタをするもので、石破政権が早くも手詰まりに陥っている表れです。

職員の皆さん、今回の総選挙は政治を変えるチャンスです。私たちの生活そのものや職場を守る本当に重要な選挙です。私たちの立場は特定の政党を推すものではありません。まず投票に行っ
て意思と要求を示しましょう。そしていのち優先・ゆたかな医療・介護を優先させる政治への大転換を図りましょう。